

ウルメイワシ太平洋系群の漁況予報

今後の見通し(2007(平成19)年8月～12月)

対象海域:北薩～熊野灘

対象漁業:まき網、定置網、棒受網、多鈎釣

対象魚群:0歳魚(2006(平成18)年秋～2007(平成19)年生まれ)及び1歳魚(2006(平成18)年夏以前生まれ)。魚体は被鱗体長。

- (1) 来遊量:北薩～薩南では前年および過去5年平均を上回る。日向灘では高水準の前年並みで過去5年平均を上回る。豊後水道西部では高水準の前年並みか前年を上回る。豊後水道東部では前年並み。宿毛湾～土佐湾は高水準の前年並みか前年を上回る。紀伊水道外域西部では前年並み。紀伊水道外域東部～熊野灘南部では前年を上回り、過去10年平均並み。熊野灘中北部では前年を上回る。
- (2) 漁期:土佐湾の多鈎釣は11月から。他は全期間。
- (3) 魚体:6～20cmの0歳魚が主体。8月までは20～23cmの1歳魚も来遊する。

漁況の経過(2007(平成19)年1月～7月)および今後の見通しについての説明

1. 資源状態:

資源量の指標となる産卵量が過去22年で最多であるので、資源水準は高位、動向は最近5年の推移から増加傾向にある。現在の漁獲は資源に大きな影響を与えていないと考えられる。

2. 来遊量、漁期・漁場:

北薩～薩南では産卵親魚の来遊が好調で、7月中旬からまき網で0歳魚が好漁であった。日向灘では年間の来遊量の指標となっている1月の漁獲量が好漁の前年を上回った。豊後水道西部では5～6月の0歳魚の漁況が高水準の前年並みであった。高知県の定置網への0歳魚の入網は好調であった。紀伊水道内外域東部では0歳魚漁が前年及び平年を上回り、潮岬付近の0歳魚漁は不漁の前年を上回ったものの平年を下回った。潮岬沖の黒潮はやや離岸基調で推移し、紀伊水道外域東部～熊野灘南部の来遊条件は良くないと予測される。熊野灘中北部では春季の0歳魚の定置網漁は前年を上回った。

2006(平成18)年7～12月の主要港水揚量は12,563トンであった。2007(平成19)年1～6月は9,609トンで前年同期の1.3倍であった。